

第 30 期 事 業 報 告

自 令和 5 年 4 月 1 日

至 令和 6 年 3 月 31 日

1. 株式会社の現況に関する事項

(1) 事業の経過及びその成果

第 7 次中期経営計画の初年度である第 30 期は、搬入量及び改良土や改良路盤材の搬出量は増加したものの、調整土の搬出量が減少したこともあり、前期と比較して、取扱量は 28 千トンの減少、売上高は約 40 百万円の増加となりました。

こうした状況の中、第 7 次中期経営計画で予定しておりました外周道路付け替え工事の設備改修やプラント内設備制御装置などの修繕等を着実に実施したこともあり、売上原価は増加しましたが、必要な物品の購入方法の検討などに努めたことにより、当期純利益は前期に比べて、約 8 百万円の増加となりました。

具体的には、前期に比べて、売上高は 8%増の 515 百万円、経常利益は 6%増の 99 百万円、当期純利益は 11%増の 78 百万円となりました。

(2) 今後の見通しと対処すべき課題

今後も厳しい状況が続くことが想定される中、まずは、第 7 次中期経営計画に掲げた第 31 期の目標である取扱量 524 千トン、売上高 530 百万円、当期純利益 69 百万円の達成を目指してまいります。

そのため、設備改修やプラント内設備の補修・更新等をより一層計画的かつ効率的に行うとともに、品質管理の推進、品質の向上にも取り組んでまいります。さらに、製造方法に様々な工夫を加えることで、品質の異なる製品を製造するなど多様なニーズにも的確に対応していくことにより、新規需要の開拓に繋げてまいりたいと考えております。